

今月はいよいよ留学最後の月でした。ひたすらに帰国できることにワクワクしつつ、友達や先生、環境から離れることにさみしくもありました。また、学校の授業も終わりが近づくため、最後の大きな課題に取り組む時間が多かったように感じます。

社会科のクラスでは、各自がそれぞれのテーマを立て、レポートを制作するという課題が出ました。私は先住民族について生徒がどれだけ知識があるのか、どこでそれについての教育を受けたのかを調べるためにアンケートを取り、先住民族についての教育の現状を探るレポートを制作しました。アンケートの制作を行ったり配布先を相談したりするなど、日本でも行ったことのないことをしたため、はじめはとても心配でしたが、先生やクラスメイトの協力のもと何とか無事に取り終わらせることができました。今回のレポートは比較的初歩的な内容になりましたが、先生にも今後の研究を仮定としたアドバイスをいただき、とても実りのある年度の締めになったと感じました。また、先月ホームレスの方に向けたシェルターを運営している NPO 団体の壁画コンテストにこの社会科のクラスで参加したのですが、なんと最優秀賞をいただき、実際にシェルター内の壁に絵を描いていただけることになりました。提出当初から良い評価をしていただけたらいいなと考えていたので、とても嬉しかったです。最後に良い思い出となったと共に貧困について視野に入れるきっかけとなった良い機会となりました。

この 10 か月間、歓迎し向かい入れてくれたホストファミリー、小さな町でほとんど全員が知り合いの中で心優しく受け入れてくれた友達、日本から見守ってくれた家族や友達、学校の先生など本当にたくさんの人にお世話になりました。がむしゃらに自分のできることを探し続け、英語のみならず自分自身を伸ばそうと試行錯誤する中でたくさんの支えがあったことは当たり前のことではなく、本当に感謝すべきことだと心の底から感じます。振り返ると本当に大変なこともたくさんありましたが、それを乗り越えてきたことが自分にとってどれだけ価値のあることなのかを今の自分を見て感じるとともに、乗り越えてきたことに対する驚きもあります。カナダにいる間は自分と向き合う時間がたくさんあり、私は一体何をしたいのか、どんな人間になりたいのかなどと考えることができました。以前のあの忙しい日々を送っていた自分では難しかったであろう、将来に対するポジティブなとらえ方ができ、学びたいことも絞ることができました。知識や経験はもちろん、それ以上に自分自身について探る貴重な時間であったとも感じます。

ようやく日本に帰って、これからまた同じように学校生活が始まりますが、探り当てた目標に向けて頑張っていきたいと思います！